

2022 全国フェミニスト議員連盟  
オータムセミナー in 徳島

ジェンダー平等の社会を!

大会アピール

appeal

2022年10月現在、徳島県の区市町村議会における女性の割合は12%。女性議員が一人もいない議会が24市町村議会の中で5議会。一人しかいない議会も8議会あります。

とはいえ、ゼロ議会だった阿波市に今年2人の女性議員が誕生しました。しかも1人はトップ当選。女性パワー満載で楽しい選挙をすることができました。今、女性議員が3人のつるぎ町では11月に行われる選挙に4人目の女性が立候補します。

昨年は首長選挙が2町であり、それぞれに新人の女性が声を上げましたが、現職の男性が当選しました。「首長は男性のもの、なんで女性が」といった時代錯誤もはなはだしい発言もありましたが、2人の女性候補は一定の票を獲得し、首長への挑戦を身近なものにし、女性たちに勇気を与えてくれました。

地方議会は住民にとって生活に密着した問題を議論します。民意が反映されなければなりません。ところが現状では、男女共同参画が最も遅れているのが政治の場です。2018年、「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律（「候補者男女均等法」）」ができましたが、罰則規定なしの努力義務です。法制定後4年が経ちましたが、どれだけ活用され効果を上げているのでしょうか。

今年の国内はコロナ禍の中、旧統一教会等と政治家との関わり、国葬問題、五輪問題、原発問題など、民主国家とは何ぞやと再考させられるようなことが多々ありました。今、政治の責任が問われています。

議会に私たちの声が届いているか、異を唱える人が排除されていないか、女性の様々な問題は社会問題だと認識されているか等々、私たちはしっかりと見届けていかねばなりません。そのためにも議会に女性を増やしていくのが先決です。

私たちは本日のオータムセミナーで得た力を糧に、政策決定の場に女性を増やしていくことに、より一層努力し、活動していきます。

「議会の半分は女性を!!」これを目指して、みんなで前進しましょう。

2022年10月9日

